

PRESS RELEASE

ピースボート災害ボランティアセンター



〒169-0075
東京都新宿区高田馬場
3-13-1-B1
TEL: 03-3363-7967
FAX: 03-3362-6073
MAIL: kyuen@pbv.or.jp
URL: pbv.or.jp/

プレスリリース No.1

2012年10月11日

企業とNGO/NPOによる新しい災害支援の連携に向けて

ー 10/17、「民間防災および被災地支援ネットワーク」立ち上げイベントを開催します。ー

この度、東日本大震災の支援活動に関わった企業、NGO/NPOによる災害対応の連携を図るために準備を進めてきた「民間防災および被災地支援ネットワーク」では、10月17日(水)16時～18時、日本財団ビル(東京都港区)にて、立ち上げイベントとなる『東日本大震災の長期的復興支援と来たるべき災害に向けたネットワークづくりフォーラム』を開催いたします。

今後も様々な災害が予測されているなか、企業による災害支援をどのように進めていくのか。実際に震災復興に携わった企業の事例共有とともに、「震災後二年目、三年目の被災地と企業がどのような関わりを持てるのか」について、被災地の方も交えて議論します。報道関係者の皆様も、取材報道目的に限らず、広く足を運んでいただければと思っています。

■ 「民間防災および被災地支援ネットワーク」立ち上げイベント

“東日本大震災の長期的復興支援と来たるべき災害に向けたネットワークづくりフォーラム”

【日時】 2012年10月17日(水) 16時～18時 (受付開始午後15時30分)

【会場】 公益財団法人日本財団ビル 1Fバウールーム
(東京都港区赤坂1丁目2番2号日本財団ビル)

【参加費】 無料

【定員】 100名(要事前予約)

【登壇者】 田村太郎氏(ダイバーシティ研究所代表理事/つなプロ代表幹事/復興庁上席政策調査官)
松村豪太氏(一般社団法人ISHINOMAKI2.0代表理事)
折笠光子氏(新日鉄住金エンジニアリング株式会社 戦略企画センター 経営企画部 CSR室長)
丹下誠司氏(大成建設株式会社 環境本部 企画管理部長)
齋藤景介氏(株式会社ブリヂストン ブランド推進部 社会活動課)
佐藤大吾氏(一般財団法人ジャスト・ギビング・ジャパン代表理事)
山本隆氏(一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンター代表理事)

【予約】 右記アドレスまで、メールにてご予約ください。 cvn.jimukyoku@gmail.com
※会社名(団体名)、氏名、メールアドレス、お電話番号をご記入の上お申し込み下さい。

【主催】 民間防災および被災地支援ネットワーク事務局

※「民間防災および被災地支援ネットワーク」について

平時より企業、非営利団体、行政などのセクターの垣根を越えた信頼関係と連携のシステムの構築が必要であるとの考えのもと、来たるべき災害に備えたネットワーク化、準備強化を目的とする企業、非営利団体などが集まるネットワークです。現在、2か月に1度の定例会を開催し、NGO/NPOや企業の方々が集まり情報共有、信頼構築を行っています。また、被災地支援の今後を考える視察の実施や来たるべき災害に向けた話し合いなどを行っています。

【事務局】

〔企業〕日本アイ・ビー・エム株式会社

〔中間支援団体〕一般財団法人ジャスト・ギビング・ジャパン、公益財団法人日本財団

〔NGO/NPO〕NPO法人オンザロード、一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンター

■ 当日プログラム

● 次の災害に向けたネットワークづくり

「東日本大震災における企業の、NPO、行政の連携。そして次に向けて」

－登壇者：田村太郎氏(ダイバーシティ研究所代表理事／つなプロ代表幹事／復興庁上席政策調査官)

● 東日本大震災での企業における支援とこれから

「企業の社員ボランティア派遣実績紹介」

－登壇者：山本隆氏(一般社団法人ピースポート災害ボランティアセンター代表理事)

「企業はどう動いたか。人的支援にあたってそれぞれの企業が行ったこと」

－登壇者：折笠光子氏(新日鉄住金エンジニアリング株式会社 戦略企画センター 経営企画部 CSR 室長)

丹下誠司氏(大成建設株式会社 環境本部 企画管理部長)

齋藤景介氏(株式会社ブリヂストン ブランド推進部 社会活動課)

「被災地での地元と企業の連携事例と今後に向けて」

－登壇者：松村豪太氏(一般社団法人 ISHINOMAKI2.0 代表理事)

佐藤大吾氏(一般財団法人ジャスト・ギビング・ジャパン代表理事)

■ 登壇者プロフィール

○田村太郎(たむらたろう) 氏

(一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事／つなプロ代表幹事／復興庁上席政策調査官)

非営利民間の立場から地域社会を変革するしくみづくりに取り組む。阪神・淡路大震災で被災した外国人のための情報提供活動を機に「多文化共生センター」を設立。神戸の復興に携わった経験から、東日本大震災直後に「被災者をNPOとつないで支える合同プロジェクト(つなプロ)」代表幹事や内閣官房震災ボランティア連携室企画官として、被災地支援に携わり、2012年2月から復興庁上席政策調査官(非常勤)として官民連携での復興の推進に取り組んでいる。

○松村豪太(まつむらごうた) 氏

(一般社団法人 ISHINOMAKI 2.0 代表理事、石巻経済新聞編集長、ラジオ石巻「Real VOICE」パーソナリティー)

地元石巻でスポーツを通したまちづくり活動を行う。勤務中に津波被害にあい、自宅も半壊するが、震災直後から瓦礫撤去や復興市の開催などに奔走し石巻中央部の復興活動の中心的な役割を担う。ISHINOMAKI2.0の発足後は復興のアイデアを次々と実行に移し、巨大仮設住宅団地におけるコミュニティ形成支援のボランティア活動の傍ら「復興バー」のマスターとして石巻の復興を願う住民や全国の支援者の架け橋の役割も担う。

○佐藤大吾(さとう だいご) 氏

(一般財団法人ジャスト・ギビング・ジャパン代表理事)

10年間の株式会社とNPOの経営を経て、10年3月、英国発1200億円を集める世界最大級の寄付仲介サイト「JustGiving」の日本版を立ち上げ、日本における寄付文化創造に取り組む。

○山本隆(やまもとたかし) 氏

(一般社団法人ピースポート災害ボランティアセンター 代表理事)

阪神淡路大震災以降、国内外の災害支援を経験。東日本大震災後、ピースポート災害ボランティアセンターを設立。宮城県石巻市を中心に、1万3千人を越えるボランティアを受け入れて活動した。

● このリリース、「民間防災および被災地支援ネットワーク」に関するお問い合わせは

ピースポート災害ボランティアセンター (事務局：東京都新宿区高田馬場3-13-1-B1)

TEL: 03-3363-7967 MAIL: kyuen@pbv.or.jp